

中國出土資料學會

2025年度第2回大会

日時：2025年12月6日（土）

場所：早稲田大学戸山キャンパス 36号館581教室

（36号館582教室 12:00～18:00（書店展示 兼 休憩室））

研究報告 13:00～17:00

※ 大会終了後に総会を開催します。

I 馬王堆漢墓遺策所見的漢初貴族用樂

報告者：楊睿雯（南京大学歴史学院博士生）

II 漢代長安城未央宮第3号遺跡の性格についての再検討

報告者：張琦（清華大学歴史系博士生）

III 前漢墓における鏡の棺内副葬とその性格

報告者：石谷慎（山口大学人文学部講師）

ハイブリッド形式の開催となります
参加希望者は下のリンクから事前登録をお願いいたします
登録受付期間：11月28日(金)まで

<https://forms.gle/r5bd8r22xPE4Q5dD6>



- ☆ 参加申込者には、12月1日以降に招待リンクと発表資料閲覧用のパスワードを事務局から送付いたします。
- ☆ 現地会場にお越しになる方は、事前に中国出土資料学会ウェブサイトから、発表資料をダウンロードしてご持参ください。会場校の負担を減らすため、現地での印刷作業はいたしません。
- ☆ 参加費無料、非会員の来聴を歓迎します

連絡先（大会委員長）

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保 2 5 5

埼玉大学人文社会科学部 西山 尚志

E-mail: hisashi323@mail.saitama-u.ac.jp